

会議等結果報告書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	1 2 0
		決裁期日	平成30年6月26日
名 称	第1回上富良野町協働のまちづくり推進委員会		
日 時	平成30年6月12日（火） 午後6時00分～午後7時30分		
場 所	役場3階 第3会議室		
出席者	協働のまちづくり推進委員12人（別紙名簿のとおり） 向山町長 事務局：町民生活課 北越課長、自治推進班 床鍋主幹、船引主査 合計16名		

【進行：事務局（町民生活課長）】

#### ◎委嘱状交付

向山町長から、委員12名に委嘱状を交付。

#### ◎町長あいさつ

今期1回目の協働のまちづくり推進委員会に出席いただき感謝申し上げます。先ほど委員の皆様へは委嘱状を交付させていただいた。協働のまちづくりについてご理解いただいたことに感謝申し上げますとともに、これから2年間の任期についてよろしくお願ひしたい。

この委員会については、平成21年からの上富良野町自治基本条例準備委員会を経て5期目を迎え、協働のまちづくりに関する事業の推進や、自治基本条例の見直しなどを活発に活動されている。協働のまちづくりの理念についても10年が経過し、根付いてきていると実感している。

本町については少子高齢化や人口減少などの問題が起きていることから、自分たちのまちは自らの手でまちづくりに取り組み、地方だからこそその魅力を発掘して愛着を持っていただき、安心して暮らしていけるようなまちづくりの指針を示していただきたい。

2年間、皆様の率直な意見をいただき、まちづくりに反映させていきたい。

※用務の為、あいさつ終了後町長退席

#### ◎自己紹介

各委員から自己紹介を行う。また、事務局の職員を紹介。

#### 1 説明等

##### (1) 協働のまちづくり推進委員会について

- ① 上富良野町協働のまちづくり推進委員会設置要綱
- ② 上富良野町協働のまちづくり推進委員会の経過

## (2) 協働のまちづくり推進補助金について

### (3) 上富良野町自治基本条例の見直しについて

事務局（床鍋主幹）より資料1～4について一括で説明。今期1回目の委員会であることから、委員会の目的や活動の経過などを説明した。

そのほかにも、推進補助金のH29年度実施状況と今年度の活用状況も説明。現在は4住民会と2団体から申請あり。

自治基本条例については、昨年、委員会で話し合われた経過と、その結果から条例8条の内容について条例の見直しを行う予定であることを説明した。

谷江委員：町が開催する事業では、託児が用意されていないことが多い。参加したいとおもっていても託児がないために参加できない人のためにも、協働のまちづくり推進補助金を使用して事業を実施する場合は託児の費用についても対象経費にならないか。

床鍋主幹：協働のまちづくり推進補助金での事業で託児を設けたい場合は、外部協力者への謝礼として1,500円を上限に経費の対象となる。そこから90%の補助を受けられるようになっている。

谷江委員：託児の保育士1名につき1,500円となるのか。

床鍋主幹：実施団体のメンバーが託児をした場合は対象外だが、外部から保育士をお願いした場合は1名につき1,500円となる。

谷江委員：子育てに役立つ講演会なのに参加したくとも託児は設けられていない場合もあった。また、町などの主催者側が「子ども連れの方が来ることを想定していない」とされると町民としては複雑な気持ちになるので、補助金では対象になると聞いて安心した。

## 2 議 題

### (1) 会長・副会長の選出について

事務局（北越課長）より役員を選出について説明。委員から事務局に一任されたことから案として、会長にNPO法人たんぼぼの会の持安弘行氏、副会長に上富良野町女性連絡協議会の水島睦子氏を提案。委員からの異議もなく承認を受けた。

#### [進行：持安会長]

### (2) 今年度の予定について

#### ① 会議の進め方について

#### ② 協議予定事項について

事務局（床鍋主幹）より資料8について説明。今年はまちづくりフォーラムなどの「まちづくり事業」や協働を推進するため施策について検討を予定。このほか、各委員からの提案された事項についても随時検討することとし、検討事項については事務局へ事前に知らせていただくよう説明した。

#### 【委員会で協議する内容について】

持安会長：委員会がつけられてから10年が経過し、要綱も見直しが行われ、協働のまちづくりも知られてきている。これまでは協働のまちづくりについての仕組みづくりを行ったが、これからは実際に行動していくことも必要ではと考える。「泥流

地帯」映画化に向けた活動も実施される。思いつきであるが町民がさまざまな立場からまちづくりを進めることが大切ではと思う。

菊池委員：商工会の会長が「泥流地帯」映画化を進める会の会長でもあり、上富良野120周年を迎えての事業ともなっている。映画化実現のために町民を巻き込むなど、協働で取り組むのに最適なことであると思う。

柴田委員：まちづくりについて協議する内容は1つに特化することも重要だが、ジオパークについても認定をめざす途中であり、いろいろまちづくりを進めている団体もあるのでその中で1つ選ぶのは難しいと思われる。協働という理念もまだまだ浸透していない部分もあることから、この考え方を広めるためにも小学生向けの資料をつくることもよいのでは。また、協働のまちづくりの指針について、時間も経過していることから読み合わせて新たなものを作るのもよいと思う。

谷江委員：町民みんながまちづくりに参加することによって、「このまちに住んでよかった」という機運が高まるとともに、町民の意見を生かすことで町が活性化するのはと考える。他のまちではファシリテーションを子どもたちに取り入れ、まちの行政に生かす取り組みを実施している。行政というと難しいと思われがちだが、自分の意見を取り入れてもらえるという経験ができればいいと考える。

柴田委員：前回の任期で協働のまちづくり推進補助金の見直しのように、委員で意見した内容が反映されたことでまちづくりに携われたと感じる。またこのようなことを委員会で取り組めたらよいと思う。

田中委員：補助金については島津住民会でも2回ほど活用させていただいたが、対象要件が厳しい。3年前に住民会でパークゴルフ場を造成したが、自分たちで実施しなければいけないことが多く、いろいろと細かい条件があった。もう一度見直ししてはどうか。島津地区が120周年を迎え九州の島津家へ訪問する交流事業を実施するために補助金を使用するが、ここでも補助金が使にくい部分がある。もっと使いやすい仕組みならば、活動する団体も盛り上がるのではないか。

谷江委員：まちづくりフォーラムに参加した方からアンケートや意見を発言する場がなかったと聞いている。アンケートなどを実施してはどうか。

井上委員：NPO法人野山人で8年ほど前に補助金を活用し、フットパスのガイド技術の向上のため、九州まで視察研修に行かせていただいた。町内で実施したフットパスの全国大会やそのほかのイベントでとても役に立ったので感謝している。

松井委員：補助金の事業がたくさん付くと予算の確保も大変では。

北越課長：活用したいと要望があれば予算補正も検討している。使いづらいのであれば見直しも検討する。

角波委員：話し合う内容として成功事例だけでなく、失敗した事業を検証するのはどうか。

松藤委員：農業の補助金でも経験しているが、どの補助金にも縛りがあるのは当たり前だと思う。枠を開放すると、予算も際限なくなってしまう。補助金の枠を広げることを検討して段階的に進めることもよいのでは。

森本委員：ジオパークを活用したまちづくりの成功事例としては、子どもも巻き込んでいることが多い。学校でも町内でもジオパークについて知らない町民もいる。住民が取り組む協働のまちづくりとしては、住民に対する周知や事業に巻き込む方が大切だと思う。映画化もジオパーク認定も十勝岳噴火の歴史を残す活動としてはすばらしいことである。このこともまちづくりの1つであることから皆さんに周知し、巻き込

むことでまちづくりの輪を広めたい。

水島副会長：協働のまちづくり補助金 については住民会が使用するの分かるが、団体では営利につながることはないか。

船引主査： 団体による事業が継続できるように、黒字になった部分を次年度の経費に充ててもらおうようにしているが、今のところ儲けがでているような団体はない。

北越課長： この補助金については次回、勉強したりケースを検討したりしたい。

### (3) 平成30年度まちづくり事業について

事務局（船引主査）より説明。今年度もまちづくり事業として「まちづくりフォーラム」を2回実施予定であることを説明。内容については、委員で講師をしてほしい方や取り上げてほしい内容などあれば事務局までお知らせいただくようお願いした。

## 3 その他

### 次回会議について

次回会議については 8月28日（火）19時から 役場3階第3会議室を予定。

【会議録は決裁終了後、行政ホームページ、町政情報提供コーナーに公開】